

2009

7月8日

水曜日

建設新聞

J S C A 東北

構造工学の科学
テーマに
和田東工大教授が講演



日本建築構造技術者協会東北支部（加藤重信支部長）は2日、和田章東京工業大学教授を招き、仙台市のエル・パーク仙台で講演会を行った。講演会には会員ら約60人が参加。冒頭、加藤支部長があいさつした後、和田氏が「構造工学の科学」塑性変更と鋼構造建築の耐震設計」を

引き続き、新日鐵エンジニアリング、岡部、昭和電線デバイステクノロジーの3社が商品説明を行った。

テーマに、最近の鋼構造建築の耐震設計について実例を紹介しながら基本的な塑性変形の役割、耐震性確保のための塑性変形能力などについて説明した。

